



桶川東中だより

☆★令和4年度★★☆

桶川東中学校通信 No.2 発行：5月16日（月）

「今がチャレンジするとき」

校長 家徳 丈夫

始業式・入学式から1か月がたちました。大型連休も終わり、今月末にある体育祭の練習も始まりました。この1か月の間に桶川東中生のよさにたくさん出会いました。その一つは、学校教育目標にもある「明るいあいさつ」です。コロナ禍でマスクを着用していることもあり、声出すことも遠慮がちですが、4月当初より徐々に声に出したあいさつが行われるようになってきました。「あいさつ」は、コミュニケーションの第一歩でもあるので、これからも大切にしたいです。

さて、各教室を回ってみると、学校教育目標や学年目標、学級目標やスローガンをはじめ、各生徒が掲げる目標が掲示してあり、今年度の学校生活への意欲が伝わってきます。一人一人の目標が達成され、充実した学校生活になることを願っています。

目標を達成するには、少しずつ目標に向かって歩いていく具体的な努力が必要です。目標に向かって努力することは、自分がやりたい他のことを我慢して、そのことを続けることにもなります。その我慢ができるのかと続ける自信がないから、はじめの一步を踏み出せない人もいないのでしょうか。また、努力したからといって、必ず自分が思い描いた結果につながる保証はありません。「だからやってもしょうがない」と、二の足を踏んでいる人もいないかも知れません。

何かにチャレンジしても、失敗することはあります。誰も失敗はしたくないし、目指す目標に達することがいいに決まっています。しかし、だからといって何もしないのはもったいないことです。チャレンジして、結果を得るから、その経験を次にいかすことができます。その経験がなければ、人生の変化はありません。結果を恐れず、自分が志した目標に向かって、チャレンジしてみてはいかがでしょうか。今がその時です。その姿をみて、周りの人たちも応援してくれるのだと思います。そして、生徒の皆さん一人ひとりが自分の目標に向かってチャレンジし、互いに支え合えるような関係になることを願っています。

最後に、本校の校歌を作詞した宮澤章二さんの詩を紹介します。宮澤さんは、多くの学校の校歌の作詞を手掛けたほか、中学生のために多くの詩を残しています。生徒の皆さんも、宮澤さんの詩から、多くのことを感じ取ってほしいと思います。

『二度とない一日』
「行為の意味」(宮澤 章二) から

5月の生活目標

・時間を意識して生活しよう

重点目標

・次の教科の準備をしてから
休み時間にしよう



【授業参観 4月15日】

今年度はじめての授業参観、保護者会が行われました。当日は、多くの保護者の方にご参観いただきました。

その後の保護者会では、担任からクラスのこと等をお知らせいたしました。

PTAの役員を選出も行いました。今年度の活動にご協力よろしくお願いたします。

【離任式 4月22日】

令和4年度 離任式が行われました。転退職された先生方に、代表者からメッセージと花束を贈りました。先生方からは生徒の皆さんに向けて励ましと感謝のお言葉をいただきました。

式のあとも、名残惜しい様子で、生徒が先生方と下校時刻まで語り合っていました。



【第52回体育祭について】

令和4年5月28日（土）

<予定時間>

*片付けがある生徒は、その後下校。

今年度の体育祭は、感染症対策を行い、短縮して行います。現在のところ、保護者の観覧について制限を設ける予定はございません。

マスク着用や、密にならないよう、ご協力お願いします。

5月の主な行事予定

日	曜	行事等
1	日	
2	月	
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	振替休業日
31	火	

